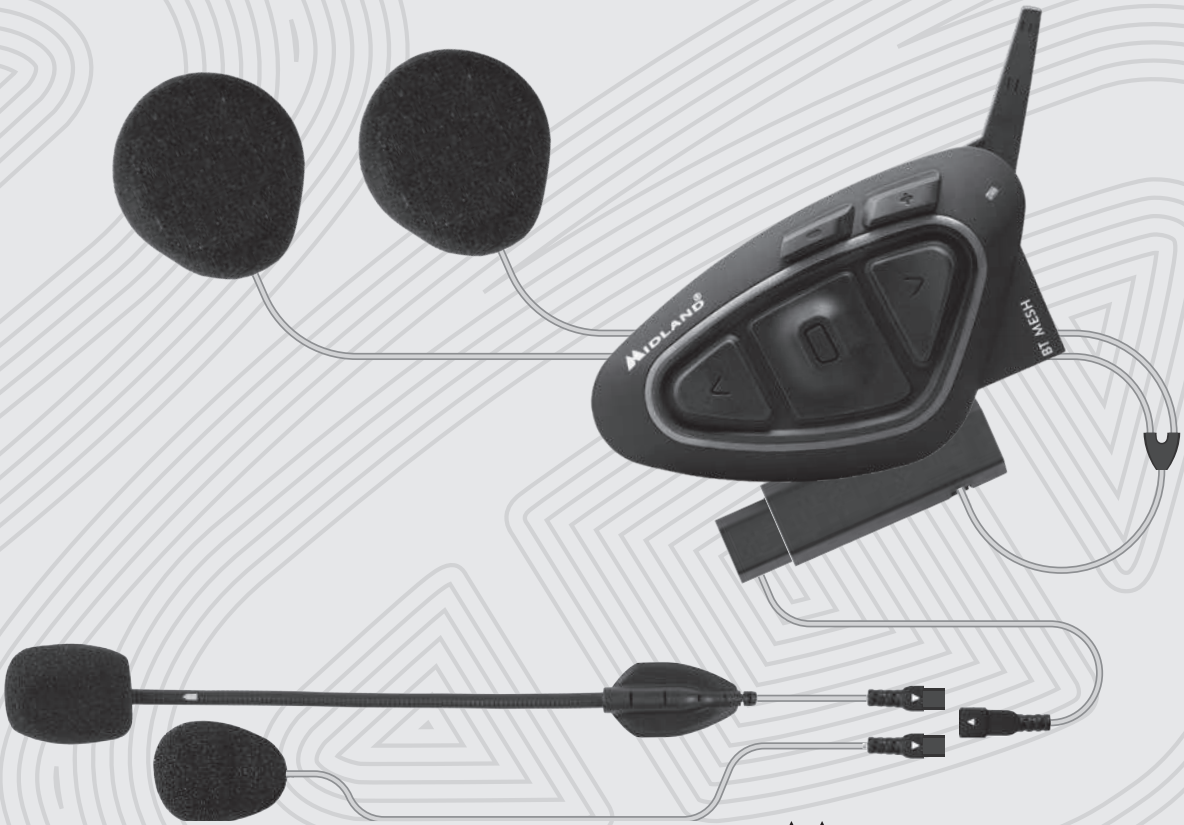
BT MESH

新設計MMCエンジン搭載

› 取扱説明書

Bluetooth™



※本体のバージョンアップ等により、仕様が変更となる場合があります。

MIDLAND®

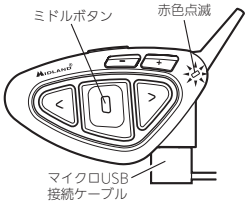
BT MESHをご購入いただきありがとうございます。

BT MESH をご購入頂きまして有難うございます。
BT MESHは、オートバイ用無線通信機器として、複数のライダーと会話を行なったり、高音質スピーカーにて音楽を聴くことが出来ます。

まず音を聞いてみましょう

①インカム本体を充電しましょう。
付属のマイクロUSBケーブルを使いパソコンまたは、USB充電器に接続してインカムの赤いランプが点滅していることを確認します。

②インカム本体とスライドマウントを合体、スピーカーがついていることを確認し、ヘルメットにつける前に音を聞いてみましょう。



※充電が完了すると青色LEDが点灯します。

スマートフォンの場合

③インカムのミドルボタンを約7秒押してください。
赤いランプが点灯します。

④インカムの⊕ボタンを約3秒押します。赤色青色LEDの早い交互点滅になります。
Bluetooth設定を行います。

⑤スマートフォン側のBluetooth設定をONにします。検索後、「Midland BT MESH」を選択します。

※PINコードを要求された場合は（0000）を入力します。

⑥音楽を再生してみましょう。

FMラジオの場合

③まず電源を入れ、インカムのミドルボタンを約3秒押して、FMラジオモードに切り替えます。

④ミドルボタンがラジオのON-OFFです。

⑤ONにして◁フォワードボタン、▷バックワードボタンを押して選局します。

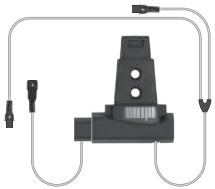
⑥FMラジオを再生してみましょう。

内容物の確認をしましょう

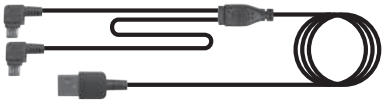
●インカム本体：2（1）セット

●高音質Nd Hi-Fi スピーカー：2（1）セット

●スライドマウンティングキット：2（1）個



●マイクロUSB 接続ケーブル：1 本



※ツインパックは１対２のケーブルが1本
シングルパックは１対１のケーブルが1本付属します。

●ブームマイク
ジェット型ヘルメット用：2（1）本

●ヘルメット固定用ブラケット
（粘着シートタイプ）：2（1）個

●ワイヤードマイク
フルフェイス型ヘルメット用：2（1）本

●ヘルメット固定ブラケット
（クランプ型タイプ）：2（1）個

●六角レンチ：1（1）本

※個数：ツインパック（シングルパック）
※仕様は予告なく変更となる場合がございます。

MMCエンジン（MIDLAND MESH CONFERENCE）

BT MESH本体は、複数のBT MESHの相手と同時に会話を行う
ミッドランド独自の新規開発「MMC」エンジンの通信方式を採用した商品です。

※一対一の個別Bluetoothインターカム通信と異なり、一対複数の通信ネットワークより、網の目状の通信網となる事からメッシュネットワークと総称されます。

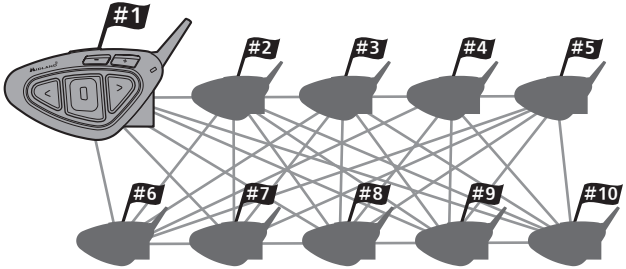
BT MESHでは、10人同時に双方向通話が可能
個々のBT MESH ユニットに、割り振られた1番から10番までのチャンネル番号をユーザーが選択して通信を行います。

MMC メッシュ接続には、2つのグループがあります。お客様の通話スタイルに合ったグループをご選択ください。

※本製品の工場出荷設定は、パブリックグループモードです。

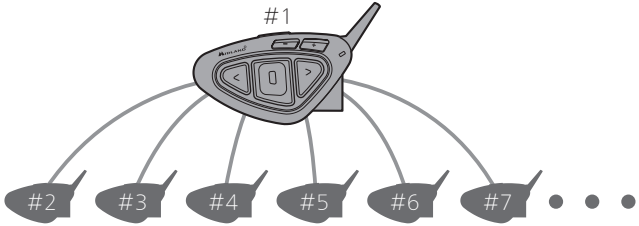
パブリックグループ

ユーザーによるペアリングの作業が必要ありません。
BT MESHユーザーが、チャンネル番号を選択、メッシュ発信すれば
会話が開始できます。工場初期出荷設定のモードです。



プライベートグループ

ユーザーによるペアリング作業が必要です。
一度、ペアリングすれば、次回からのペアリングが必要ありません。
親機（マスター）と同一の「カギ」を持つユーザーのみが参加できる
グループ内の通信となります。ペアリング後チャンネル番号が重複しないよう、
ご注意ください。



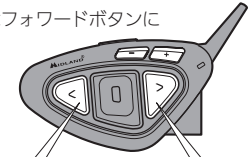
どちらのモードも、通信能力、音質に違いは発生しません。

又、どちらのモードも、後述します、ゲストユーザーの追加、後方互換性による他ミッドランドインカム接続、メッシュ通信を行いながら
ナビ・音楽などを聴く選択を自由にして頂く事が可能です。

※パブリックグループは公開チャンネルなので、グループの範囲内に空いているチャンネル番号を持った他のユーザーが存在するなどの可能性はあります。
※同じグループ内で同じチャンネル番号を設定できません。
※各グループとも、11人目以降はゲストとして参加が可能です。ゲストは10人の会話を聞くことはできますが、話すことはできません。

ミッドランド製のBluetoothモデルや他社製インカムを登録可能

バックワードボタンまたはフォワードボタンに登録できます。



他社インカム または
ミッドランド Bluetoothモデル

ミッドランド Bluetoothモデル

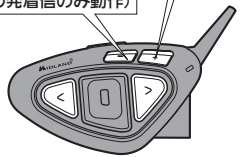
2台の携帯電話を登録可能

ボリューム⊕に登録すると、
アプリ等の音声を聞くことができます。
（ステレオ音声）
メッシュ通信時にバックグランドにて
音声を聞くことが可能です。

ボリューム⊖に登録すると、
モノラルのBluetooth機器及び
電話の発着信のみ動作します。
（モノラル音声）

携帯電話／ナビ
ミュージックプレイヤー

携帯電話
（電話の発着信のみ動作）



BT MESHおすすめポイント

Bluetooth通信

◎タンデム間Bluetoothインカム通信が可能
（ミッドランドインカム2台、他社インカム1台）

◎携帯電話を接続して電話に応答可能（2台登録可）

◎Hi-Fiスピーカーで音楽を楽しむ

◎ワイドFM対応ラジオを聞く

メッシュ通信

◎同時に10人で会話が出来る

◎ペアリング無しで通信（パブリックグループ）

◎グループの離脱、合流の際にペアリングの組み直しが不要

◎ブリッジ機能でミッドランドや他社モデルも
メッシュ通信に参加可能
（Bluetooth接続は有効距離約10m）

◎ゲストモード台数無制限

目次

BT MESH Intercom Systemの特徴 6
安全にお使いいただくために 6
各部の名称 7
使い方 7
操作モード 9
メッシュ通信について 10
ペアリングのしかた 11
携帯電話などのBluetoothデバイスとのペアリング 17
FMラジオを聞く 20
その他の機能 21
こんなときは？ 23
アクセサリー 25

BT MESHインターカムシステムをご購入いただき誠にありがとうございます。

故障かな？と思ったら、23ページの「こんなときは？」に該当する症状がないかご確認ください。それでも正常に動作しないときは、販売店にご相談ください。

BT MESH Intercom Systemの特徴

- 新設計MMCエンジン搭載、メッシュテクノロジーを用いて、10人同時通話双方向通話 - Full Duplexにて実現
- 新機能メッシュゲスト 10人以上のメンバーに対し、聞くだけの機能限定で参加可能。
- 新設計メッシュゲスト機能　圏内であれば、無制限のゲスト設定可能。
- タンデム間Bluetoothインカム通信が可能（ミッドランドインカム2台登録可、他社インカム1台登録可）
- MWE ノイズキャンセル機能
- HDサウンド（メッシュ通信機能）
- ミュージックシェアー（ドライバーとパッセンジャー間）
- 携帯電話接続　2台可能　（受発信）
- 低音の音源から広域に忠実に再現する音響システム＋Hi-Fi スピーカー
- ステレオブレンド機能
- AGC 音量自動調整機能
- VOX 音声認識機能
- 二つのペアリングモード
- ペアリング不要で10人同時通話可能な、パブリックグループ
- 親機と同一の「カギ」を持つユーザーのみが参加可能なプライベートグループ
- PCシステムプログラム　BT UPDATERにより、詳細設定可能（ミッドランドホームページよりダウンロードしてください）

安全にお使いいただくために

安全かつ効果的な取り扱いが行えるように、次の見出しを使用しています。
見出しの意味を十分にご理解の上、正しくお使いください。

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容。

●シンボルマークの意味

このマークは禁止の行為であることをあらわします。	このマークは指示を守ることをあらわします。

⚠ 警告

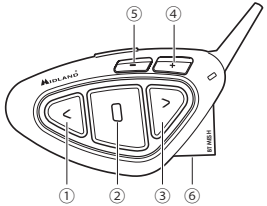
- 本製品はオートバイ用のインターカムです。
  本製品を道路上で使用する場合は、各地方自治体の条例、各都道府県の道路交通法に従ってください。
- 大音量を聞きながら運転しないでください。
  運転に必要な様々な音が聞き取れなくなり、重大な事故の原因となります。また、音に集中すると運転意識の低下につながります。
- 医療機器などの近くでは電源を切ってください。
  Bluetoothの電波は微弱ですが、医療向け計測器、心臓ペースメーカーなどの近くでは使用を控えてください。
- 飛行機の中では使用しないでください。
  電波が影響を及ぼし、事故の原因になる恐れがあります。
- 本製品を分解・改造しないでください。
  感電や火災、やけどの原因になります。
- 本製品の内部に金属物、水などの液体、燃えやすい物質、薬品などを入れないでください。
  回路がショートして火災の原因になります。

⚠ 注意

- 本製品から異臭や音がしたら、ただちに使用を中止してください。
  そのまま使用し続けると、ショートして火災の原因になるおそれがあります。
- 高温多湿になる場所での充電、放置は避けてください。
  発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となるおそれがあります。
- 長時間水がかかる場所で使用／保管または水没させないでください。また、本体が濡れた状態や濡れた手でマイクパーツや接続パーツの脱着をしないでください。本体内部に水が入った場合、出来るだけ早く電源を切り、よく乾燥させてください。
  発熱、破裂、ショート、発火、感電、故障の原因となります。
- 本体に無理な力をかけないでください。
  無理に力をかけると破損や故障の原因になります。
- 本製品を廃棄する場合は、各自治体の条例に従ってください。
  内容については各自治体にお問い合わせください。

各部の名称

■本体



①フォワードボタン　②ミドルボタン
③バックワードボタン　④ボリューム⊕
⑤ボリューム⊖　⑥チャージ端子
マイクロUSB接続ケーブルを接続し、充電します。
※パソコンと接続して、ソフトウェアアップデートを行うときにも使用します。
※別売の音声入力用オーディオ接続ケーブル（C1255）はBT MESHには使用できません。

■付属品　※（　）‥シングルパック

- ●オーディオキット：2（1）セット
  - ・高音質Nd Hi-Fi スピーカー
  - ・ブームマイク
    ジェット型ヘルメット用
  - ・ワイヤードマイク
    フルフェイス型ヘルメット用
- ●スライドマウンティングキット：2（1）セット
- ●ヘルメット固定用ブラケット（粘着シートタイプ）：2（1）個
- ●ヘルメット固定ブラケット（クランプ型タイプ）：2（1）個
- ●マイクロUSB接続ケーブル：1本
- ●六角レンチ：1本

※仕様は予告なく変更となる場合がございます。

■仕様

- ・ブルートゥース Ver. 4.2 Stereo（プロトコル対応　Hands Free, A2DP, AVRCP）
- ・最大通信距離　1400m（メッシュ通信時）※妨害電波が無く、相手が見渡せる環境下
- ・防水対応（IPX6相当）
- ・周波数　2.4 Ghz 帯域　（最大出力パワー100mW）
- ・デュアルコア　チップセットシステム
- ・充電式リチウム電池内蔵　インカム通信連続最大20時間対応
- ・充電時間　最大2時間

注意
- ● 最初は3時間充電してください。
- ● 充電するゴム製キャップより入った水が、滞留して故障につながるケースが発生しています。ゴムキャップのしめ忘れは、商品の故障につながります。雨に濡れた後は、商品内部に水が入っている事が十分考えられます。商品を取り付けマウントから外しキャップをあけてよく乾燥する事が長くご使用頂けるコツです。

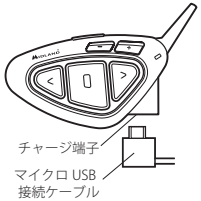
【ヒント】
- ● お互いが常に見える位置でご使用いただくと、最善のパフォーマンスを発揮します。
- ● ミッドランドのインカムは、充電端子が充電を検知しますと、電源がオフになる設計となっています。充電中も継続して商品をご使用になりたい場合は、再度電源キーを押して電源をオンにしてください。

使い方

⚠ 使用時に、製品本体のゴムキャップを、確実に閉じてください。
接続端子に雨などが入り故障の原因になります。

充電のしかた

※ 本製品を使用する前に充電してください。
※ 充電器は、別途USB充電器をご用意ください。



1. 本体のラバーカバーを開けて、チャージ端子にマイクロUSB接続ケーブルを接続する。

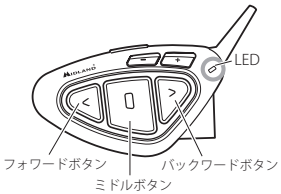
2. 充電器と付属のマイクロUSB接続ケーブルを接続する。
※マイクロUSB接続ケーブルを差し込む向きにご注意ください

3. 充電器をコンセントに差し込んで、充電を開始する。
※充電が開始されると赤色LEDが点滅します。
※充電が完了すると青色LEDが点灯します。

4. 本体からマイクロUSBプラグを外す。

5. ラバーカバーを元に戻す。
※本製品をご購入時、充電完了まで約3時間かかる場合があります。
通常の充電時間は、約2時間です。
※電源ONの状態でUSBプラグを接続した場合、電源が自動的にOFFになります。
充電中に使用する場合は、USBプラグを接続後、再度電源をONにしてください。

電源のON／OFF



■電源を入れる

電源OFFの状態からミドルボタンを青色LEDが1回点灯するまで約3秒間押す。
※ 電源がONになると青色LEDがゆっくりと点滅します。

注意
- ● 長押し続けると登録モードになり、赤い点灯となります。その場合、再度電源OFFからやり直してください。

■電源を切る

ミドルボタンとバックワードボタンを赤色LEDが3回点滅するまで押す。
※ 赤色LEDが点滅し電源が切れます。

装着のしかた

1. Hi-Fiスピーカーを取り付ける。

ヘルメット内部の耳に当たる部分に付属の両面テープと面ファスナーテープでスピーカーを取り付けます。

【ヒント】

最近新しく発売されているヘルメットではスピーカー用のスペースがあらかじめ設けてある場合があります。

注意

- 取り付ける前に両方のスピーカーから音が出ていることを確認してください。スピーカーの位置が、音の聞こえ方に大きく影響します。
- 運転中に周囲の交通状況を聞けるよう、両耳を完全にふさいでしまうような取り付けかたをしないよう注意してください。

2. マイクを取り付ける。（2種類）。

マイクは、2種類付属しています。

ヘルメットタイプに適したマイクを装着してください。

●ブームマイク：

オープンフェースタイプ、フロントフリップタイプのヘルメットに適したマイクです。マイクの根元に付いている両面テープと面ファスナーテープで取り付けます。

指向性の高いマイクを使用しています。マイクの部分が、装着時に口の前に来るように取り付けてください。

白色のマークが口側に向くように取り付けてください。

風切りのノイズキャンセル機能を有効に活用できます。

●ワイヤードマイク：

フルフェイスタイプのヘルメットに適したマイクです。マイクに付いている両面テープと面ファスナーテープで取り付けます。

指向性の高いマイクを使用しています。マイクの部分が、装着時に口の前にくるように取り付けてください。

3. ヘルメットにスライドマウンティングキットを取り付ける。

スライドマウンティングキットを取り付けるブラケットは2種類同梱しています。（貼り付け型ブラケット・クランプ型ブラケット）

【ヒント】

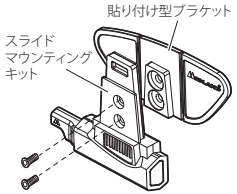
2つめのヘルメットへ装着する場合、スペアマウントを個別にご購入いただけます。P24をご参照ください。

【ヒント】

お取り付けは貼り付け型ブラケットタイプがおすすめです。

●貼り付け型ブラケットを使用する場合

※粘着シートで貼り付ける前に、本体をブラケットに取り付けた状態で最善の装着場所を確認してください。

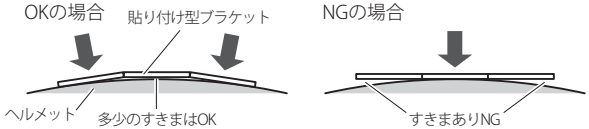


① 貼り付け型ブラケットとスライドマウンティングキットを付属のネジ（2本）で締め付けます。

② ヘルメットの取り付け部分から油分などの汚れを除去して、きれいな状態にします。

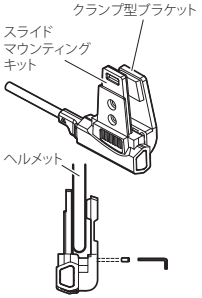
③ 貼り付け型ブラケットの粘着シートのフイルムをはがし、装着面に貼り付けます。粘着シートの両端を装着面に確実に取り付けてください。

しばらくそのまま固定して、装着を完全にしてください。



●クランプ型ブラケットを使用する場合

※ブラケットをネジで固定する前に、本体をブラケットに取り付けた状態で最善の装着場所を確認してください。



① クランプ型ブラケットとスライドマウンティングキットを付属のネジ（2本）で仮止めします。

② ヘルメットの下から挟み込み、ネジを締め付けます。

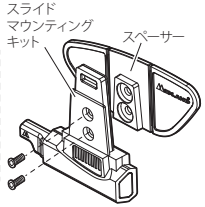
●スペーサーを使用する場合

スペーサーは、ヘルメットとのぐらつきを抑えるため（隙間を埋めるため）の部品です。

貼り付け型ブラケットと同じ形のスペーサーが同梱されています。

その状態でさらにクランプ型ブラケットを装着します。

※必要に応じてお使いください。



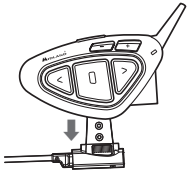
注意

- ブラケットは、あらゆる装着テストを基に設計、用意されていますが、本体のヘルメットからの脱着に伴う事故、破損、損失、故障は、保障範囲から外れます。十分注意して取り付けてください。

4. 本体を装着する

① **本体をスライドマウンティングキットに合わせ下にスライドさせます。**

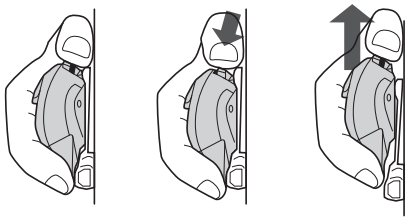
② **ゆっくりと本体を押し込みます。**
固定クリップにより本体が固定されます。”カチッ”と音がするまで押し込んでください。



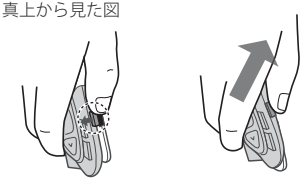
注意
- 装着は完全に行ってください。
  本体が完全にスライドマウンティングキットに固定されていないと脱落する恐れがあり危険です。

●取り外すには
インカムをスライドマウンティングキットから取り外す際は、固定クリップを本体側に押し込みながら、上へスライドさせるように引き抜いてください。
無理に外そうとするとマウンティングキットの根元が折れたり、端子部のチャージピンが破損する要因となります。

真横から見た図



真上から見た図



操作モード

■ MMCモード

メッシュ通信やBluetoothインターカム通信を行うときに使用するモードです。
フォワード、ミドル、バックワードボタンを使用して、登録された相手との通話を開始します。

■ フォーンモード

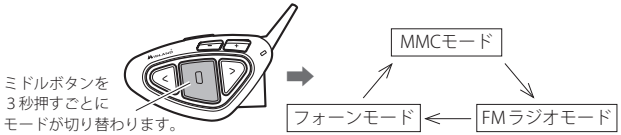
携帯電話の応答や音楽、ナビなどBluetooth接続機器を聴くことができるモードです。
※ 携帯電話／ミュージックプレイヤー等を登録（ペアリング）するとフォーンモードへの切り替えができます。
※ 電話機を使用する場合は、自己の責任において、十分安全性を確保した上でご使用ください。

■ FMラジオモード（ワイドFM局対応）

FMラジオを聞くモードです。ラジオ局をサーチすることができます。
※ 6局までメモリー登録できます。
対応周波数 76～108MHz

操作モードの切り替えかた

ミドルボタンを約3秒間押すごとに操作モードが切り替わります。
音声ガイダンスでモードを確かめながら、操作したいモードに変更してください。



※ 操作モードが切り替わる毎にMMCモード、フォーンモード、FMラジモードオなどの音声ガイダンスが流れます。
※ 携帯電話やナビなどのブルートゥース機器が登録されていないとフォーンモードの音声案内がアナウンスされません。
※ 本体の電源投入時にモードが音声でアナウンスされます。

【ヒント】
ボリューム⊕とボリューム⊖を同時に押すと
現在のモードがアナウンスされます。

メッシュ通信について

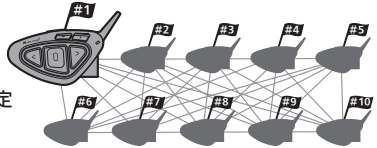
【特長】

❶最大10人での同時通話が可能
❷ペアリングなしでも通話が可能
❸使用中の合流・離脱が可能
❹11人以上はゲストメンバーとして参加可能

メッシュ通信には2種類のグループがあります。
ご使用になるグループを選択してください。

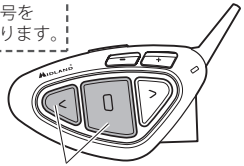
最初は設定が簡単なパブリックグループでご使用いただくことをおすすめします。
（本製品はご購入時にパブリックグループ設定されています。）

パブリックグループ



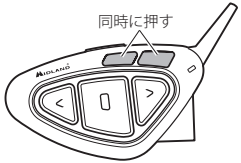
メリット
❶ペアリング不要で、かんたん設定
❷10人同時通話が可能
❸ゲスト設定は無制限

注意
公開チャンネルを使用するので、同じチャンネル番号を持ったグループ外のBT MESHと重複する可能性があります。



1. MMCモードよりパブリックグループになっていることを確認します。
フォワードボタンとミドルボタンを、同時に6秒押すごとにモードが切り替わります。
パブリックグループ←→プライベートグループ

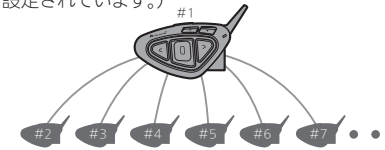
注意
ご購入時にはプライベートグループには切り替わりません。
プライベートグループ設定後に切り替えが可能です。



2. グループ10人で＃1～＃10のチャンネル番号を決め、それぞれ設定します。
⊕ボタンと⊖ボタンを同時に押し、5秒以内に⊕ボタンまたは⊖ボタンを押してナンバーを選びます。

3. MMC通信モードでミドルボタンを押して発信。

プライベートグループ

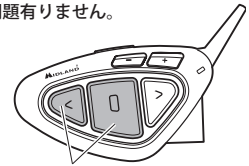


メリット
❶秘話性に優れる
❷ペアリングしたメンバーのみ通話が可能
❸ゲスト設定は無制限

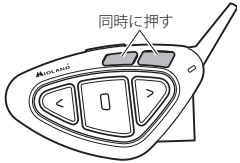
注意
グループメンバーとペアリングが必要。

まず最初に、どれか１つのBT MESHを、「マスターユニット（親機）」として決めます。選択されるマスターユニットは、どのBT MESHでも問題有りません。

1. マスターユニットとペアリングします。



2. MMCモードよりプライベートグループになっていることを確認します。
フォワードボタンとミドルボタンを、同時に6秒押すごとにモードが切り替わります。
パブリックグループ←→プライベートグループ



3. グループ10人で＃1～＃10のチャンネル番号を決め、それぞれ設定します。
⊕ボタンと⊖ボタンを同時に押し、5秒以内に⊕ボタンまたは⊖ボタンを押してナンバーを選びます。

4. MMC通信モードでミドルボタンを押して発信。

※グループ内で同一のチャンネル番号がある場合は通信エラーとなります。
※クイックマニュアルではパブリックグループの説明のみ記載しています。インカムをペアリングの上、プライベートグループでご使用いただくことも可能です。

ペアリングのしかた

注意
BT MESHの通信距離の表記は平坦な見通しが可能な条件での最大値です。BT MESHを有効にご使用頂くには、話をする相手が見える位置にて通信がお勧めです。

【ヒント】
BT MESHには、パブリックグループモード、プライベートグループモードの２つの通信モードがあります。（距離や通話出来る人数に違いはありません。）

●操作一覧表

ボタン / モード	フォワードボタン	ミドルボタン	バックワードボタン
MMC	短押し：BT MESH以外のBluetoothインカムとの通話開始/通話の終了	短押し：BT MESHとのメッシュ通信ON／OFF	短押し：BT MESH以外のBluetoothインカムとの通話開始/通話の終了
フォーン(電話)	【ボリューム⊕とペアリングした携帯電話】 短押し：着信応答 長押し：リダイヤル発信	ー	【ボリューム⊖とペアリングした携帯電話】 短押し：着信応答 長押し：リダイヤル発信
フォーン(音楽プレイヤー)	短押し：次の曲へ曲送り	短押し：再生／一時停止	短押し：前の曲へ戻る
FMラジオ	短押し：ラジオ選曲（seek up）	短押し：FMラジオON／OFF	短押し：ラジオ選曲（seek down）

パブリックグループモード（公開モード）

BT MESH 間でのペアリングが必要無い、簡単接続モードです。
BT MESH内のチャンネル番号を選択して、発呼ボタンを押すだけで10人＋ゲストの方がMMCネットワークに入れます。ゲストの人数限定は有りません。
ペアリング作業が必要無い何方にもご使用頂ける簡単設定が特徴です。　公開チャンネルですので、他のユーザーの方が空いてるチャンネル番号を使用している場合などは、秘話性はありません。

例1：10人のメンバーを登録する事ができます。それぞれのメンバーが重複しないように、1番から10番までチャンネル番号を設定。　Aさんは、常に1番、Bさんは2番、Cさんは3番～Jさん10番、というように設定します。ツーリングの際には、この10人の中で、どの方が参加されても設定を変える事なくボタン１つで全員と会話が出来る便利モードです。

例2: ゲストは、何人でもネットワークの中に入る事ができますが、聞く事のみの参加になります。人数の制限はありません。10人以上の大型ツーリングで、11人目、12人目の方は圏内であれば 案内（指示）を受ける事が可能です。

例3: 5番に登録されている、Eさんが不参加の場合、11人目のKさんは、そのツーリングの時に自機BT MESHのチャンネル番号をゲストから5番に変更するだけで、Kさんは話ができるようになります。

【ヒント】
本製品はご購入時『パブリックグループモード』に設定されています。

【ヒント】
ツインパック（2個入り）でご購入されたBT MESH は既にチャンネル2番、チャンネル3番で設定済みです。

■パブリックグループモードの設定と通話方法

このモードの場合、新たなペアリングは必要ありません。
公開グループモードは、既に10個のペアリングがされた状態で出荷されています。
ご自分のチャンネル番号（背番号）をご選択して、通話をスタートしてください。

【ヒント】
１つのE-mailアドレスから同じアドレスにメールが送れないのと同様に、１つのチャンネル番号から、同じチャンネル番号への発着信は出来ません。メンバー全員が違うチャンネル番号であることを確認してください。

●操作手順

1. **BT MESHユニットの電源を入れます。**
   ミドルボタンを3秒押し
2. **音声案内で、「MMCモード」アナウンスを確認**
3. **他のモードの音声案内の場合、ミドルボタンを再度3秒押して、モードを[MMCモード」に切り替えます。**
4. **ボリューム⊕とボリューム⊖を同時に単押しします。**
5. **現状のチャンネル番号の音声案内があります。**
6. **音声案内から5秒以内にボリューム⊕かボリューム⊖を押すことによって自機のチャンネル番号を変更する事ができます。**
7. **プラスを押すと、チャンネル番号が上がっていきます。この方法にて、ゲスト設定の選択も可能です。**
   例： 1 -> 2-> 3-> 4-> 5-> …….8-> 9-> 10-> ゲスト -> 1 -> 2

8. ご自分のチャンネル番号（背番号）を選択。
メンバーがそれぞれ、異なる番号になるようにチャンネル番号設定をします。
チャンネル番号案内より5秒経過することで、そのチャンネル番号に設定されます。
圏内に同じ番号がいますと、通信障害を起こします。

9. メンバー全員がミドルボタンを押して、MMC回線に参加してください。
音声案内「メッシュ接続」にて確認。LEDが青と緑の交互点滅になりますとパブリックグループモードでの接続が完了です。

10. メッシュからの離脱は、再度ミドルボタンを押します。
音声案内「メッシュ離脱」にて、回線を閉じます。

注意
Bluetooth接続と違い、参加するメンバー全員がミドルボタンを押して発呼する必要があります。

プライベートグループモード

通常のブルートゥースペアリングと同じエンクリプション コードにより、データを暗号化させた接続を行う事によりグループ構成を行います。
秘話性に優れており、かつ、誰が離脱しても、参加しても、ペアリング済みであれば、縦横無尽に参加出来るメリットはそのままご活用いただけます。

■プライベートグループモードの設定と通話方法

まず最初に、どれか１つのBT MESHを、「マスターユニット（親機）」として決めます。
選択されるマスターユニットは、どのBT MESHでも問題ありません。

●操作手順

1. BT MESH登録の対象となる商品の電源を全て落とします。
2. 商品の充電が十分残っている状態をご確認ください。
3. マスターユニットを決めます。
グループ内、どのBT MESH ユニットでも選択できます。
4. マスターユニットのミドルボタン（センターキー）を7秒以上押します。
赤いLEDライトが点灯する事を確認してください。
5. マスターユニットのLEDが赤い状態で、マスターユニットのミドルボタン（センターキー）を6秒押します。
LEDライトが緑色にゆっくり点滅を始めます。
6. ペアリングしたいマスター以外の他のBT MESH商品の対応を行います。対象モデル全てのミドルボタンを7秒以上押します。
LEDライトが赤く点灯する事を確認してください。
7. 引き続き、マスター以外のBT MESH全てのミドルボタン（センターキー）を3秒押します。
LEDライトが緑と青の交互にフラッシュします。
8. マスターユニットと、１０m以内にいるBT MESHユニットがエンクリプションキーを交換します。
9. ペアリングが完了して、デジタルDNAの移植が完了しますと、BT MESH商品のLEDライトが赤く点灯（付きっぱなし）状態になります。
10. 携帯電話などの登録がなければ、登録モードを終了します。ミドルボタン（センターキー）の２回押し（ダブルクリック）で通常モードに戻ります。携帯電話・ナビなどの登録は、別ページを参照してください。
11. この時点で、マスターユニットは、LEDライトが緑でフラッシュを継続しています。
この状態は、エンクリプションキーを配信し続けています。
12. ミドルボタン（センターキー）をダブルクリックして、登録モードを終わります。
LEDが赤い点灯状態になります。
13. 再度ミドルボタンを２回押し（ダブルクリック）しますと、通常のオペレーションモードになります。
LEDが青い点滅状態になります。
14. フォワードボタンとミドルボタンを同時に3秒間長押しし、メッシュプライベートグループに切り替えます。
15. ボリューム⊕とボリューム⊖を同時に単押しします。
16. 現状の自機のモードの案内＋チャンネル番号の音声案内があります。
17. 音声案内から5秒以内にボリューム⊕かボリューム⊖を押すことによって自機のチャンネル番号を変更する事ができます。
18. プラスを押すと、チャンネル番号が上がっていきます。この方法にて、ゲスト設定の選択も可能です。
例： 1 -> 2-> 3-> 4-> 5-> …….8-> 9-> 10-> ゲスト -> 1 -> 2
19. ご自分のチャンネル番号（背番号）を選択。
メンバーがそれぞれ、異なる番号になるようにチャンネル番号設定をお願いします。
圏内に同じ番号がいますと、通信障害を起こします。
20. ミドルボタンを押して、MMC回線に参加してください。
音声案内「メッシュ接続」にて確認。LEDが赤と緑の交互点滅になりますとプライベートグループモードでの接続が完了です。
21. メッシュからの離脱は、再度ミドルボタンを押します。
音声案内「メッシュ離脱」にて、回線を閉じます。

注意
- Bluetooth接続と違い、参加するメンバー全員がミドルボタンを押して発呼する必要があります。

J

●操作一覧表

ボタン／モード	フォワードボタン	ミドルボタン	バックワードボタン
MMC	短押し：ペアリングした他のインカムとの通話開始/通話の終了	短押し：BT MESHとのメッシュ通信ON／OFF 長押し：モード切替 2回クリック：音楽の再生※	短押し：ペアリングした他のインカムとの通話開始/通話の終了

※ボリューム⊕に音楽プレイヤーが登録されている場合。

BT MESH ゲスト

登録ずみの10人はチャンネル番号を使用する以外に、ゲストチャンネルを選択する事ができます。ゲストは、話す事ができない以外は、その他の事は可能です。

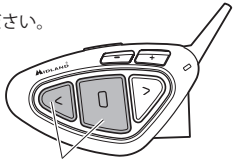
ツーリングが10人以上になった場合、11人目からはゲストメンバーとして
チャンネル番号を設定して、指示や会話を聞く事が可能です。

また、集団で移動されるグループの指示系統にご活用頂けます。

設定は、P11またはP12「ペアリングのしかたの」「操作手順」をご参照ください。

グループモードの切り替えかた

1. 電源オン　MMC モードである事をご確認ください。（ボリューム⊕とボリューム⊖を同時押しすると、モード確認ができます）
2. フォワードボタンとミドルボタンを同時押ししてください。
3. モードが切り替わり、音声案内が流れます。
4. ご希望のモードにならなかった場合は、再度、フォワードボタンとミドルボタンを押しますと、モードが切り替わり、新しいモードの音声案内が流れます。



同時に６秒押す

注意
- パブリックグループモードのBT MESHと、プライベートグループモードのBT MESHは、グループ内で併用ができません。必ず、どちらかのモードに統一されてご使用してください。
- プライベートグループへはグループ設定後に切り替えが可能となります。
- ペアリングの際は、BT MESHどおしを近づけてください。（１０ｍ以内）

【ヒント】
LEDライトが、青と緑の交互点滅の場合・・・パブリックグループ（公開モード）
LEDライトが赤と緑の交互点滅の場合・・・・・・プライベートグループ

【ヒント】
音声で、グループモードの確認ができます。
MMCモードの時に、ボリューム⊕とボリューム⊖を同時押ししますと、本機のチャンネル番号をアナウンス、その5秒後にプライベートグループの時のみグループ名のアナウンスを行います。

エンクリプションキー（デジタルID)のリセット方法

プライベートグループモードで使用されるエンクリプションキー（デジタルID) は、通信システム内部に格納されていますが、新しいマスターユニットからの新たなペアリング情報（要求）があった場合、既存（古い）IDは、上書きされます。

●強制的に、エンクリプションコードを消去する方法

1. **電源を落とす**
2. **ミドルボタンを7秒押す**
   赤いLEDライトが点灯する事を確認
3. **フォワードボタンとバックワードボタンを同時に3秒押し込む**
4. **LEDの緑のライトが点灯**
   その後、赤いLEDライトが点灯すると、コードの消去が完了します。
5. **ミドルボタンをダブルクリックして通常オペレーションモードに戻ります。**
   青色LEDが点滅します。
6. **この時点では、パブリックグループモードのみとなります。**

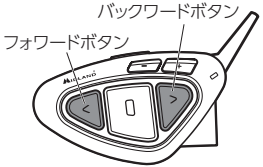
Bluetoothインカムを登録する（個別通話）

本製品は、１台のユニットにつき3台（ミッドランド社製：2台、他社製1台）までペアリングできます。
・【ミッドランド製インカムとのペアリング】の登録方法で、ミッドランドのインカムを2台ペアリングすることができます。
・【他社製インカムとのペアリング】の登録方法で、ミッドランドまたは他社インカム製品を1台ペアリングすることができます。

注意
Bluetooth接続の有効距離は約10mです。タンデム用としてご使用ください。

■ミッドランド製インカムとのペアリング

BT NEXT PRO, BT X2PROS, BT X1PROS, BT X1PRO
とのペアリングも可能です。
BT MESHモデルのフォワードボタンと
バックワードボタンに登録可能です。



BT MESH と、ミッドランドBluetoothモデルとの接続方法

1. BT MESH 本機の電源を落とします。
2. ミドルボタンを7秒押します。→LEDが赤の点灯になります。
3. 赤の点灯は、登録モードです。色々な登録をする際に、ここからスタートします。
4. BT MESH では、フォワードボタンとバックワードボタンにミッドランドインターカムをそれぞれ1台ずつ接続できます。どちらのボタンに登録されたいか、選択してください。
   *登録は2台可能ですが、一度に通話できるのは1台です。
5. 選択されたボタンを3秒押します。LED点滅が、赤と青の早い交互点滅となります。
6. 登録したい相手のミッドランドインカムも、同様に、ペアリングモードから、選択したキーを押して青と赤の早い交互点滅にしてください。
7. ペアリングが終わりますと、一度青いLEDが1秒付き、それから赤の点灯となります。
8. 赤のLED点灯状態は、ペアリングの設定モードです。他のペアリングが有れば(別のボタンで)ペアリングしてください。
9. 他にペアリングをするモデルが無ければ、ミドルボタンをダブルクリック(2回単押し)して設定モードから通常オペレーションモードへ移行します。LEDは、青い点滅となります。

注意
Bluetoothインターカムとの有効距離は約10mです。タンデム用としてご使用ください。

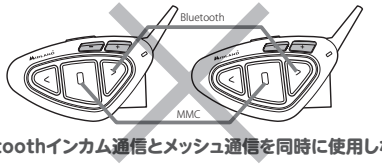
BT MESH 商品からミッドランドBluetoothモデルへの発信

1. BT MESH 本機を[MMC]モードにします。
2. 本機のボリューム⊕とボリューム⊖を同時押ししますと、モード音声案内が出ます。
3. モードの切り替えは、ミドルボタンの3秒押しです。
4. 相手のモデルの電源が入っている事を確認してください。
5. ペアリングが完了した、ボタン(フォワードボタンかバックワードボタン)を単押しします。
6. 数秒後、接続が完了して、音声が聞こえます。
7. 会話を切断するのは、再度同じボタンを単押して終話します。

VOX発信・・・本機には、音声認識でインカム発信する事ができます。
マイクにある一定の声(抑揚)を入力する事でボタンを押さなくともインカム発信します。
国内市場に於かれましては、誤動作の原因となりますので、工場初期設定ではこのモードをオフにしています。

- VOX機能によるインカム自動発信は、工場初期設定でオフになっています。
- BT MESH からのVOXインカム発信機能は、バックワードボタンに登録したインカムが対象となります。
- 少し大きめの音声を入力しないと動作しない場合があります。
- VOX 機能は、ミッドランドホームページからダウンロード出来るPCプログラムBT UPDATER での詳細設定が可能です。
- 本機からも、MMCモードからバックワードボタンの7秒押しでVOX機能をオンにする事が可能です。

注意
BT MESH同士のBluetoothインカム通信とメッシュ通信を同時に使用はしないでください。通信障害を引き起こします。



Bluetoothインカム通信とメッシュ通信を同時に使用しない

【ヒント】
※ MMCモードでBT MESH 以外のBluetoothインカムと通話をしている時に、別のBT MESHと話がしたくなった場合、Bluetoothインカム通話を閉じる操作無しにメッシュ発信が可能です。MMCモードで、ミドルボタンを短押しするとメッシュ通信に接続出来ます。その際は、Bluetoothインカム通話の回線を自動で閉じます。

J

■他社製インカムとのペアリング

Talk2All-Universal Intercom機能を使って他社インカム製品を登録します。
また、ミッドランド製インカムも登録することができます。

注意
- すべての他のBluetooth機器は切られており、ペアリングさせる2台の機器のみが接続されている状態で行ってください。

ユニバーサルインターカム機能

他社インカムと登録をする機能です。
登録時、ミッドランドはインターカムとして相手を登録しますが相手側（他社側）は、ミッドランドを携帯電話として認識します。
ミッドランドが世界に先駆けて、市場投入した画期的なシステムです。
ペアリング後は通常のインターカム通信として交信します。

Talk2All-Universal Intercom機能を使って他社インカム製品を登録します。
※ フォワードボタンに他社インカムを1台ペアリングできます。
※ ミッドランド製インカムもTalk2All-Universal Intercom機能を使って登録することができます。

注意
- Bluetoothインターカムとの有効距離は約10mです。タンデム用としてご使用ください。
- ミッドランド製のインカムも他社インカムとして登録が可能です。
- ペアリングさせる2台の機器のみ電源が入っている状態で行ってください。

1. 本製品の電源をOFFにする。

2. ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで約7秒間押し続けて、セットアップモードにする。

3. フォワードボタンを約7秒押し続けて、ペアリングモードにする。

※ペアリングモードに入ると青色と赤色のLEDが、早い点滅が始まりゆっくりした点滅へと変わります。

【ヒント】
LEDが早い点滅状態で手をはなしてしまった場合、電源をOFFにしてからやり直してください。

4. 他社インカム製品を操作してBT MESHとペアリングする。

①他社インカム製品を携帯電話とペアリングするのと同じ手順で操作します。
②自動的に登録操作が開始されます。
③本製品と他社インカム製品の登録が完了すると青色LEDがゆっくりと点滅します。
※他社インカム製品に携帯電話が登録されていると、ペアリング時、上書きされます。
※ミッドランド製インカムを他社インカム製品として登録する場合、携帯電話のペアリング方法でペアリングします。
※詳しくは、他社インカム製品の取扱説明書を参照してください。

他社製インカムとインターカム通話する場合

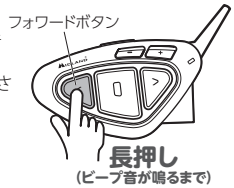
ミッドランドインカムの操作

- インターカム通話するには（呼び出す）

BT MESH本機をMMCモードにします。呼び出したい相手を登録したボタン（フォワード）を長押し（約3秒）します。
※ 数秒後にビープ音が聞こえ、インターカム通話が開始されます。

- インターカム通話をやめるには（切る）

インターカム通話開始時と同じボタンを再度押します。
※ ビープ音が聞こえ、インターカム通話を終了します。



他社インカム製品の操作

- インターカム通話するには、リダイヤル発信と同じ操作をします。
- インターカム通話をやめるには、携帯電話を終話する操作と同じです。
  ※詳しくは、他社インカム製品の取扱説明書を参照してください。

【ヒント】
※ MMCモードでBT MESH以外のBluetoothインカムと通話をしている時に、別のBT MESHと話がしたくなった場合、Bluetoothインカム通話を閉じる操作無しにメッシュ発信が可能です。MMCモードで、ミドルボタンを短押しするとメッシュ通信に接続出来ます。その際は、Bluetoothインカム通話の回線を自動で閉じます。

ブリッジ接続

BT MESH商品は、後方互換性により、BT MESH以外のミッドランドインターカムと接続をすることが可能です。（例：BT NEXT PRO, BT X2 PRO, BT X2 PRO S, BT X1 PRO, BT X1 PRO S, BT CITY, BT NEXT-C, など）
また、ミッドランド開発のユニバーサルインターカム機能にて、他社Bluetoothインカムとの接続も可能です。

注意
Bluetoothインターカムとの有効距離は約10mです。タンデム用としてご使用ください。

BT MESHの「ブリッジ機能」を利用すると、BT MESH 1台につき1台のBluetoothインカム（ミッドランドインカム、他社インカム、いずれでも可能）をメッシュ通信に参加させることが可能です。
メッシュ通信時の発着信優先度は以下の表の通りです。
工場出荷時設定では、メッシュ通信時にBluetoothインカムへの発着信がある場合、メッシュ通信が切れてBluetoothインカムとの通話を優先します。

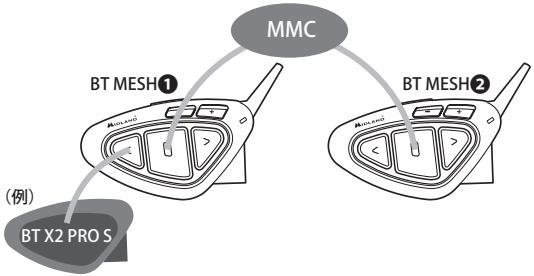
メッシュ通信時		
	ブリッジオン	ブリッジオフ
Bluetooth インカム着信	メッシュ通信に Bluetoothインカムも参加	インカム着信優先
Bluetooth インカム発信		インカム発信優先

注意
※ 工場出荷時設定は、ブリッジオフです。
※ Bluetoothインターカムとの有効距離は約10mです。タンデム用としてご使用ください。

接続例
BT MESH❶がミッドランドBluetoothユニット（例：BTX2 PROS）と接続
同時に、BT MESH❷接続されている場合、

●ブリッジ接続オン

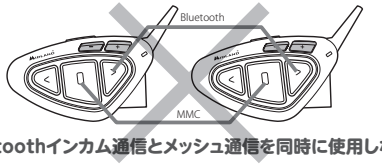
本機BT MESH❶のボリューム⊕を長押しします。
音声案内「ブリッジ　オン」と流れます。
この状態で、Bluetoothの音声（BT X2 PRO Sの音声）を、BT MESH本機を経由して、メッシュネットワークに流せます。
同時に、メッシュネットワークの音声を、Bluetooth機器に流す事が可能となります。



●ブリッジ接続オフ

再度ボリューム⊕を長押ししますと、ブリッジオフの音声が流れます。
橋渡しが行われない状態となり、BT X2 PRO Sの音声はメッシュネットワークに送られなくなります。結果、Bluetoothからの音声は、中心であるBT MESH❶のみしか聞けなくなります。

注意
BT MESH同士のBluetoothインカム通信とメッシュ通信を同時に使用はしないでください。通信障害を引き起こします。

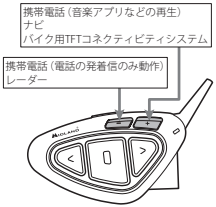


Bluetoothインカム通信とメッシュ通信を同時に使用しない

J

携帯電話などのBluetoothデバイスとのペアリング

携帯電話／ミュージックプレイヤーとのペアリング操作は、ボリューム⊕を使用します。また、ボリューム⊖を使用してさらにもう一台の携帯電話を登録できます。
ペアリングが完了後、フォーンモードの音声案内が流れます。



※ 携帯電話に着信があった場合、着信を優先させるため、音楽の再生、FMラジオは中断されます。
※ ボリューム⊖に登録した携帯電話は、発着信および通話が可能ですが、携帯電話の音楽等を聴くことはできません。携帯電話の音楽等を聴きたい場合は、必ずボリューム⊕に登録してください。
※ ボリューム⊕とボリューム⊖にそれぞれ1台のBluetooth機器を接続できます。
※ ボリューム⊕にA2DP/HFP対応のBluetoothデバイスを接続できます。
ボリューム⊖にHFP/HSP対応のBluetoothデバイスを接続できます。

注意
BT MESH本機にBluetooth機器をペアリングし、メッシュ通信のバックグランドで音声を聞く際は、メッシュ通信距離が減衰する場合があります。

ペアリングのしかた

1. **電源をOFFにする。**
2. **ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで、長押し（約7秒間）する。**
3. **ボリューム⊕またはボリューム⊖を長押し（約3秒）してペアリングモードにする。**
   ボリューム⊕：携帯電話／ミュージックプレイヤー
   ボリューム⊖：携帯電話（電話発着信のみ動作）
   ※ペアリングモードに入ると青色と赤色のLEDが交互に点滅します。
4. **携帯電話などのマニュアルに従って、Bluetooth検索をONにする、またはペアリング状態にする。**
   ※携帯電話に本製品が認識されると、携帯電話にMidland BT MESHと表示されます。
5. **Midland BT MESHを選択し、PIN CODEを要求された場合は（0000）を入力する。**
   ※携帯電話などのBluetoothデバイスの登録方法および操作については、それぞれ付属のマニュアルを参照してください。
   ※登録が完了すると、自動でペアリングモードから抜け、青色LEDがゆっくり点滅し、使用できる状態となります。

接続のしかた

ボリューム⊕へ接続された機器（音源）

- **メッシュ通信時**
  メッシュ通信のバックグランドで、プラスの音源を聞く事が可能です。
  例えば、iPhoneが接続されていて、音楽とナビを流している場合、メッシュ通信を行なっている最中に、バックグランドで音楽とナビの音声が流れます。
  iPhoneの音量は、iPhone機器よりボリューム調整可能です。

ボリューム⊕より接続された音声は、
接続されたBT MESHユーザーのみ聞く事が可能です。

- **Bluetoothインカム通信時**
  Bluetoothインカムと、ボリューム⊕に接続された機器の音声を同時に聞く事が出来ません。
  インカム、FMラジオの音声より優先度が高くスピーカーに出力されます。

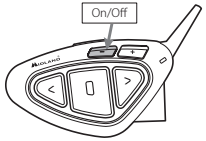
ボリューム⊖へ接続された機器（音源）

バックグランド機能をオンにされますとHSP対応のレーダー等の音声（モノラル音声）をバックグランドで聴きながらインカム通話が可能です。

HSP対応のレーダー（モノラル音声）のバックグランドフィーチャー

メッシュ通信で通話中に通話を切断することなくレーダーの音声を聞く場合は、バックグランドフィーチャーをONにする必要があります。
※ バックグランドフィーチャーは、MMCモードでのみ有効です。使用するには、MMCモードにしてください。
※ HSPに対応したレーダーをペアリングしたときに動作します。

- **ON／OFFの仕方**
  ボリューム⊖を約3秒間押しON／OFFを切り替えます。
  設定がON：「バックグランド機能オン」とアナウンス。
  設定がOFF：「バックグランド機能オフ」とアナウンス。



キー操作

フォーンモードでのフォワードボタン操作

携帯電話(スマートフォーン)がボリューム⊕に登録されている事。
携帯電話は、電話が掛けられる契約(SIM)が入っている事
モード設定は、フォーンモード

- 単押し(ワンクリック) 携帯電話のAIアシスタント機能の呼び出し(Siriなどの自然言語処理を用いる機能)
  ※携帯電話の仕様によっては動作しない場合があります。

- (ビープ音が鳴るまで長押し 携帯電話のリダイヤル機能を使用して発信します。(最後に携帯電話から発信した番号へ再度発信します)

- (2度目のビープ音がるまで)さらに長押し
  短縮タイヤルへ発信します。
  ※あらかじめBT UPDATERにて短縮ダイヤルの設定が必要です。

【ヒント】
例えばiPhoneが接続されている場合は、フォワードボタンの単押しでSiriが立ち上がります。
「近くのコンビニを探して」 →「そこまでナビをして」 → ナビ開始
「会社に電話して」 → 電話発信

MMCモードでのフォワードボタン操作

モード設定は、MMCモード

- 単押し(ワンクリック)登録されたインカムへ発信します。
  もう一度単押ししますと、終話します。

- (ビープ音が鳴るまで)長押し 他社登録発信(他社インカムの登録が必要です)

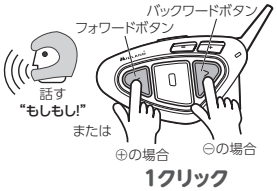
※ 1つのキーで、ボタンが押される時間より発信先が異なります。スピーカーから発信される音に注意してボタンを離してください。

操作方法

フォーンモードの時、リダイヤル発信、着信応答、音楽を聞くなどの操作ができます。
フォーンモードにするには、ミドルボタンを"フォーンモード"とアナウンスされるまで長押し(約3秒間)します。
※ 操作方法は、操作一覧表(11ページ)を参照してください。

携帯電話の着信に応答するには

着信に応答する方法は2通りあります。



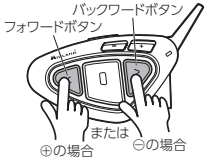
A:"もしもし"などの単語をマイクに向かってしゃべると自動で応答できます。
※この機能は、着信音が3回聞こえたあと動作します。
※携帯電話がこの機能サポートしている必要があります。

B:ボリューム⊕に登録した電話の場合、フォワードボタンを、ボリューム⊖に登録した電話の場合、バックワードボタンを押して着信に応答してください。

J

着信中の電話に出たくない場合

着信中の電話に出たくない場合は、ピッと音が鳴るまで、フォワードまたはバックワードボタンを数秒間押します。



A…1クリック

B…長押し
(ビープ音が鳴るまで)

C…さらに長押し
(2度目のビープ音が鳴るまで)

電話をかける

電話のかけ方は3通りあります。
操作モードは、必ずフォーンモードにします。

A：Siri等の音声認識を起動して発信。
（フォワードまたはバックワードボタンを1クリック）
携帯電話の仕様によっては動作しない場合があります。
B：携帯電話のリダイヤル機能を使用して発信。
（フォワードまたはバックワードボタンをビープ音が鳴るまで長押し）
C：短縮ダイヤルへ発信します。
（フォワードまたはバックワードボタンを2度目のビープ音が鳴るまでさらに長押し）
あらかじめBT UPDATERにて短縮ダイヤルの設定が必要です。
※ 携帯電話の音声認識機能を使用するため、携帯が音声認識機能に対応している必要があります。
※ 音声認識の精度は、携帯電話の音声認識機能に依存します。

短縮ダイヤルを１つ登録することができます。

短縮ダイヤルの登録は、BTUPDATER（Windows PCソフト）またはBTSETアプリ（アンドロイド専用）を使用して登録します。短縮ダイヤルの登録方法等は、BT UPDATERまたはBTSETアプリの説明書を参照してください。BTUPDATER、BTSETアプリのインストール方法および使用方法は、以下のURLを参照してください。

BTUPDATER：
http://www.midlandradio.jp/support/program.html

BTSETアプリ：
http://www.midlandradio.jp/support/manual.html

BTUPDATERまたは、BTSETアプリを使用して短縮ダイヤルを設定する。
※短縮ダイヤルは、ボリューム⊕に登録された携帯電話のみで動作します。
また、短縮ダイヤルが登録されている場合のみ動作します。
※短縮ダイヤルをキャンセルしたい場合は、フォワードボタンを押します。

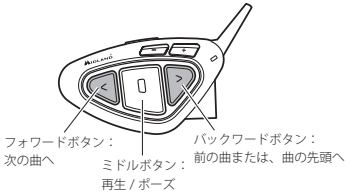
電話を切る

通話中の電話の切り方は3通りあります。
A：相手が電話を切るまで待つ。（自動的に電話が切れます。）
B：ボリューム⊕に登録した電話の場合、フォワードボタンを、
ボリューム⊖に登録した電話の場合、バックワードボタンを押して切る。
C：携帯電話を操作して電話を切る。

携帯電話または、ミュージックプレイヤーの音楽を聴く

本製品のボタンを使用してミュージックプレイヤーを操作できます。
※ 操作モードを必ず、フォーンモードにしてから操作してください。
※ ボリューム⊕に登録した携帯電話の音楽のみ操作できます。

●操作のしかた



※ 音楽を聴いている最中に着信があったりインターカム呼出されたりした場合は、音楽再生が中断されます。

FMラジオを聞く

本製品でFMラジオを聞くことができます。
ミドルボタンを3秒間押し、操作モードをFMラジオモードにして11ページの「操作一覧表」のように操作してください。

●FMラジオモードでのインターカム通話

バックワードボタンに登録されている相手のみ、ボイスアクティベーション機能を使用してインターカム呼び出しができます。
※ マニュアル操作で通話相手を呼び出す場合は、必ず操作モードをMMCモードにして操作してください。

FMラジオをON／OFFする

ミドルボタンを押してON／OFFを切り替えます。
※ ラジオがONの場合：ホワイトノイズ、または受信している放送が聞こえます。
ラジオがOFFの場合：何も聞こえません。

受信可能なFM放送局を探してラジオを聞く

1. ミドルボタンを押して、ラジオをONにする。

2. フォワードボタン(seek up)またはバックワードボタン(seek down)を押す。
受信可能なFM局を探して受信できる局で止まります。
※放送局を探している間、無音状態になります。

よく聞くラジオ局を登録する

1. ミドルボタンを押して、ラジオをONにする。

2. フォワードボタンまたはバックワードボタンを長押しして、登録したいメモリーを選ぶ。
メモリー番号がガイダンスされるので、登録したいメモリー番号を選択してください。

3. フォワードボタン(seek up)またはバックワードボタン(seek down)を押して登録したいラジオ局を探す。

4. 受信中にフォワードボタンとバックワードボタンを同時にピッと音がなるまで約3秒間押す。
選択したメモリーに登録されます。

登録したラジオ局を聞く

1. ミドルボタンを押して、ラジオをONにする。

2. フォワードボタンまたはバックワードボタンを長押しする。

3. メモリー番号がガイダンスされるので、選局したいメモリー番号までフォワードボタンまたはバックワードボタンを長押しする。

※ BTUPDATER、BTSETアプリにてお好みのラジオ局を登録することも可能です。

FMラジオを使用しない

操作モード切替時、FMラジオモードを出てこないようにすることができます。
※ “FMラジオを使用しない “を設定した場合、FMラジオが聞けなくなります。

●設定方法

1. 電源をOFFにする。

2. ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで、約7秒間押し続けセットアップモードにする。

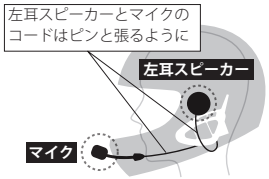
3. ミドルボタンとボリューム⊕を同時に3秒間押す。
青色LEDが3回点滅：FMラジオを使用しない
青色LEDが1回点灯：FMラジオを使用する
※希望した設定にならなかった場合、ミドルボタンとボリューム⊕を再度同時に3秒間押してください。

4. ミドルボタンを2回押して、セットアップモードを終了する。

【ヒント】
ご購入後、屋内でFMラジオを受信させた場合、ラジオの電波が入りにくい場合があります。ヘルメットに装着される前に屋外等でFMラジオの受信確認をお願いします。

確認方法

❶本機を満充電にします。
❷本機をヘルメットに装着する前に、インカムとオーディオキットを接続します。
❸インターカムのモードをFMラジオモードにします。
❹オーディオキットの左耳スピーカーコード（短い方）とマイクコードがFMラジオのアンテナとなっています。左耳スピーカーとマイクのコードがしっかりと張っている状態にします。（右図参照）



❺フォワードボタンを一度押します。受信可能なFMラジオ局をサーチします。
※インターカムモードをFMラジオした時、何も音が聞こえない（無音）場合は、FMラジオがOFFになっている可能性がありますので、インターカムのミドルボタンを一度押してFMラジオをONにしてください。

ミッドランドインターカムは、FMラジオ局を6件登録できます。
FMラジオ局の登録および呼び出し方法は、本頁に記載されています。
またhttp://www.midlandradio.jp/support/program.htmlよりBTアップデーター（Windows版のみ）をダウンロードの上、PC画面上でもFMラジオ局を登録することができます。

FMラジオを聞きながらできること

①FMラジオモードでラジオを視聴時、バックグランドでラジオを聞いたまま、ペアリングした相手を呼び出し通話も可能です。

●呼び出し方法

FMラジオモード時、ペアリングしたボタンをダブルクリックすると呼び出しができます。

BT MESHのフォワード、バックワードのボタンにはミッドランドの他のモデルがペアリング可能です。各ボタンを2回押すと、呼び出せます。

②FMラジオモードでラジオを視聴時、バックグランドでラジオを聞いたまま、メッシュ通信に参加し通話も可能です。

●呼び出し方法

FMラジオモード時、ミドルボタンをダブルクリックするとメッシュ通信に参加可能。

③FMラジオモードでラジオを視聴時VOX機能を用いてペアリングした通話相手を呼び出し可能です。

●呼び出し方法

BT MESHのバックワードボタンに登録した相手をVOX機能で呼び出しが可能です。VOX機能オンにてご使用ください。

※①～③の機能について、これまではインカム通話をしながらFMラジオを聴くことはできませんでしたが、BT MESHでは、FMラジオを聴きながらインカム通話が可能となりました。
※FMラジオモード時、ボリューム⊕、ボリューム⊖に接続された端末をラジオを聴きながら同時に聞くことは出来ません。（端末側の動作は一時停止します）

その他の機能

ボリュームの調整（AGC機能）

本機は環境に合わせ自動的にボリュームを調整します。
手動での調整はボリューム⊕／ボリューム⊖を押してください。
※ AGC機能により、車速度が速くなるとボリュームが大きくなります。

AGC機能を設定する

AGC機能をONまたはOFFに設定することができます。

1. ボリューム⊕とボリューム⊖を同時に3秒間押すと設定値がアナウンスされます。
設定がオン：「AGCオン」とアナウンス
設定がオフ：「AGCオフ」とアナウンス
※希望した設定にならなかった場合、もう一度ボリューム⊕とボリューム⊖を同時に3秒間押して設定してください。
※FMラジオモードでは、ラジオをOFFにしてから操作してください。

HDサウンド システム（High Density Sound System）

BT MESH HDサウンドシステムはネットワークをより安定的にとらえ、明瞭で安定した音質を実現します。HDサウンドは近距離限定です。
出荷設定ではオフになっています。
● HDサウンド設定変更方法

1. MMCモードにします。
2. フォワードボタンとバックワードボタンを同時に押し込んでください。
3. 出荷設定の場合、「HDサウンドオン」に切り替わります。
4. 再度、フォワードボタンとバックワードボタンを同時に押し込んで頂くと、「HDサウンドオフ」に切り替わります。
5. キー操作を行うたびに順次切り替わります。

注意
グループ通信を行なっているメンバーは、全員同じ設定でご使用（通話）ください。

音楽をシェアする（ライダーとパッセンジャー）

ライダーの聞いている音源をパッセンジャーが一緒に聞くことができる機能です。
※ インターカム通話、電話で通話中に音楽をシェアすることはできません。
※ ミュージックシェアできるインカムは、ドライバーのインカムのバックワードボタンにペアリングされたインカムのみです。
※ ミュージックシェア中のインカムとの最大通信距離は10ｍです。

●ミュージックシェアを開始する

1. **ミドルボタンを３秒間押し、パッセンジャーのインカムをインターカムまたはフォーンモードにする。**
2. **ミドルボタンを３秒間押し、ライダーのインカムをフォーンモードにする。**
3. **ライダーのインカムのミドルボタンを押し、音楽を再生する。**
4. **ライダーのバックワードボタンを３秒間押す。**
   パッセンジャーと音楽をシェアが開始されます。

●ミュージックシェアをやめる

ライダーのバックワードボタンを長押しする。
または、パッセンジャーのミドルボタンを押す。

ボイスアクティベーション操作

“もしもし” 等マイクに向かって話かけるとインターカム通話を開始することができます。
※ バックワードボタンに登録されたミッドランド製インカムのみ、インターカム呼び出しが可能です。

注意
- バックワードボタンに登録されたミッドランド製インカムのみ、呼び出しが可能です。バックワードボタンにインカム登録が無い場合はオンオフの設定、機能の動作は出来ません。
- 工場出荷設定はインカムVOX OFFになっています。

●インターカム通話するには

マイクに向かって話しかけます。
※ 数秒後にビープ音が聞こえ、インターカム通話が開始されます。

●インターカム通話をやめるには

お互いに話をしない状態が約40秒間続くと自動的にインターカム通話をやめます。
すぐに通話をやめたい場合は、バックワードボタンを押します。

●ボイスアクティベーション設定（オン/オフ）を一時的に切り替えるには

バックワードボタンを “ボックス機能オン” または “ボックス機能オフ” がガイダンスされるまで約７秒間押します。
※ 設定は、トグル設定となっていますので、設定する度にオン/オフ設定が交互に変わります。もし、設定したい値（オン/オフ）と違った設定になった場合は、もう一度設定操作を行ってください。
※ FMラジオモードでは、ラジオをOFFにしてから操作してください。

ボイスアクティベーションの調整

ボイスアクティベーション機能は、周囲の環境音の影響を受けますので、万が一、誤動作をした場合に調整を行ってください。
ボイスアクティベーションの工場出荷設定は、携帯着信「ON」インカム発信「OFF」となっています。パソコンでBTUPDATERを使って設定してください。

インカム設定ソフトウェア

WindowsPC用のBTアップデーターPRO（Windows 7以降）とAndroid OS用（Android 4.0以降）のBTSETアプリを使用して、FMラジオのメモリー登録、短縮ダイヤル、AGCのON/OFF等を設定することができます。設定にはBTアップデーターPROを使用してください。

BTUPDATER、BTSETアプリのインストール方法および使用方法は、以下のURLを参照してください。
BTUPDATER： http://www.midlandradio.jp/support/program.html
BTSETアプリ：http://www.midlandradio.jp/support/manual.html

ソフトウェア（Firmware）のアップデート

PCと本製品をUSBケーブルで接続し、ソフトウェア（Firmware）をアップデートできます。ミッドランドのホームページの下記アドレスからPCソフトウェア、アップデートマニュアル、ソフトウエア（Firmware）をダウンロードしインストールしてください。

Webサイト：http://www.midlandradio.jp/support/program.html
※ アップデート用PCソフトウェアをPCにインストール中は、PCと本製品を接続しないでください。
※ 現時点では、Windows PC（Windows 7以降）のみアップデートが可能です。
※ バッテリーが十分ある状態で行ってください。

J

ペアリング情報のリセット

本製品に登録した接続機器の全てのペアリング情報をリセットします。
※バッテリーが十分に残っている状態で行ってください。

1. **電源をOFFにする。**
2. **ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで、約7秒間押し続けセットアップモードにする。**
3. **ボリューム⊕とボリューム⊖を同時に約3秒間押し続ける。**
   ※青色LEDが点灯し、接続機器情報のリセットが開始されます。
   ※ペアリング情報のリセットが終了すると、赤色LEDが点灯します。
4. **ミドルボタンを2回押す。**
   セットアップモードを終了し、ペアリング情報をリセットします。

工場出荷状態に戻す

※ バッテリーが十分に残っている状態で行ってください。

1. **電源をOFFにする。**
2. **ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで約7秒間押し続け、セットアップモードにする。**
3. **フォワード、ミドル、バックワードボタンを同時に3秒間押す。**
   ※青色LEDが点灯し、初期化が開始されます。
   ※初期化が終了すると赤色LEDが点灯します。
4. **ミドルボタンを2回押して、セットアップモードを終了する。**
   ※工場出荷状態にすると全てのペアリング情報はリセットされます。

注意
ペアリング情報のリセットや工場出荷状態に戻す操作後、インカムはMMCモードおよびFMラジオモードの音声案内のみとなります。再度携帯電話等とペアリングされますとフォーンモードへ切り替わります。

こんなときは？

【ヒント】

- 商品初期設定は、全て公開モードにて出荷されています。
- 圏内に公開グループモードの同じチャンネル（番号）のBT MESHがいると通信エラーが発生します。
- パブリックグループモードのBT MESHと、プライベートグループモードのBT MESHは、グループ内で併用ができません。必ず、どちらかのモードに統一の上ご使用ください。
- HDサウンド設定（P21参照）について、グループ通信を行なっているメンバーは、全員同じ設定でのご使用をお願いいたします。

こんな時は？	ここを確かめてください
通話相手にこちらの声が聞こえない	本体にマイクが確実に取り付けられているか確認してください。
	マイクの白色のマークが口側に向いているか確認してください。
	マイクと口の間隔を5mm程度にしてください。
通話相手の声が聞こえない	高音質Nd Hi-Fiスピーカーの音量を上げてください。
	オーディオキットが本体に正しく接続されているか確認してください。
BT MESHが携帯電話とうまく連動しない	本機の電源がONになっているか確認してください。
	バッテリーが十分に充電されているか確認してください。
	携帯電話が通話可能かどうか確認してください。
	携帯電話のBluetooth機能がONになっているか確認してください。
	本機と携帯電話のペアリングが正常に完了しているか確認してください。
過度の風切音	風の影響の少ない場所へマイクを移動させてください。
プライベートグループに切り替わらない	プライベートグループ設定後に切り替えが可能です。（P12参照）インカムご購入時または初期化後は切り替わらない仕様です。
フォーンモードに切り替わらない	本商品は、携帯電話等のペアリングが無い場合はフォーンモードの音声案内が流れない仕様です。携帯電話等のペアリング後に再度ご確認ください。

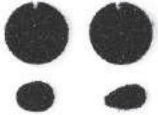
こんな時は？	ここを確かめてください
スマートフォンの音楽がインカム側から聞こえない	スマートフォンがインカムのマイナス側へ登録されている場合は、音楽の音声は聞こえません（マイナス側は電話の発着信のみの動作となります）。一度ペアリング情報を消去の上（P23参照）プラス側へのペアリング（P17参照）、音楽再生をお試しください。
メッシュ通信の際の受信感度が悪い、通信距離が短くなったように感じる	ペアリングされているBluetooth機器を一度オフにしてお試しください。
メッシュ通信の中にBluetoothインカムが入れない	ブリッジ接続がオンであるかご確認をお願いします（P16参照）。

総代理店：株式会社LINKS
〒604-8025　京都市中京区下大阪町349-6 イシズミビル 7 F
info@linksofjapan.jp
http://www.midlandradio.jp
製 造 元：Midland Radio Corporation
http://www.midlandradio.com

J

アクセサリー

名称	型番	
BTTボタン （別売品）	C1238	
BT PRO Nd Hi-Fiスピーカー （スペア）	C1294.10	
BT PROジェットヘルメット用 マイクスポンジ （スペア）	84-01	
BT PRO マイクロUSB充電ケーブル （1対1） （スペア）	L1340	
BT PRO マイクロUSB充電ケーブル （1対2） （スペア）	L1341	
BT PRO フルフェイス用 ワイヤーマイク （スペア）	L1343	
BT PRO ジェットヘルメット用 ブームマイク （スペア）	L1344	

名称	型番	
BT PRO 取付クランプ （2種類） （スペア）	L1345	
BT PRO LEDマウント （スペア）	L1347	
BT PRO 取付クランプ （粘着タイプ） （スペア）	L1371	
BT PRO ブラケットマウント （スペア）	L1420	
BT PRO スピーカー・マイク 面ファスナーテープ （スペア）	L1372	
BT PRO ブームマイク （オープンヘルメット用） （別売品）	C1253	
BT PRO 充電アダプター （別売品）	L1339	

- **INFORMAZIONE AGLI UTENTI**: i sensi dell'art. 13 del decreto legislativo 25 luglio 2005, n.151 "Attuazione delle Direttive 2002/95/CE, 2002/96/CE e 2003/108/CE, relative alla riduzione dell'uso di sostanze pericolose nelle apparecchiature elettriche ed elettroniche, nonché allo smaltimento dei rifiuti".

  Il simbolo del cassonetto barrato riportato sull'apparecchiatura indica che il prodotto alla fine della propria vita utile deve essere raccolto separatamente dagli altri rifiuti. L'utente dovrà, pertanto, conferire l'apparecchiatura giunta a fine vita agli idonei centri di raccolta differenziata dei rifiuti elettronici ed elettrotecnici, oppure riconsegnarla al rivenditore al momento dell'acquisto di una nuova apparecchiatura di tipo equivalente, in ragione di uno a uno. L'adeguata raccolta differenziata per l'avvio successivo dell'apparecchiatura dismessa al riciclaggio, al trattamento e allo smaltimento ambientalmente compatibile contribuisce ad evitare possibili effetti negativi sull'ambiente e sulla salute e favorisce il riciclo dei materiali di cui è composta l'apparecchiatura. Lo smaltimento abusivo del prodotto da parte dell'utente comporta l'applicazione delle sanzioni amministrative di cui al dlgs. n.22/1997 (articolo 50 e seguenti del dlgs. n.22/1997).
- All articles displaying this symbol on the body, packaging or instruction manual of same, must not be thrown away into normal disposal bins but brought to specialised waste disposal centres. Here, the various materials will be divided by characteristics and recycles, thus making an important contribution to environmental protection.
- Alle Artikel, die auf der Verpackung oder der Gebrauchanweisung dieses Symbol tragen, dürfen nicht in den normalen Mülltonnen entsorgt werden, sondern müssen an gesonderten Sammelstellen abgegeben werden. Dort werden die Materialien entsprechend ihrer Eigenschaften getrennt und, um einen Beitrag zum Umweltschutz zu liefern, wiederverwertet.
- Todos los artículos que exhiban este símbolo en el cuerpo del producto, en el embalaje o en el manual de instrucciones del mismo, no deben ser desechados junto a los residuos urbanos normales sino que deben ser depositados en los centros de recogida especializados. En estos centros, los materiales se dividirán en base a sus características y serán reciclados, para así poder contribuir de manera importante a la protección y conservación del medio ambiente.
- Tous les articles présentant ce symbole sur le corps, l'emballage ou le manuel d'utilisation de celui-ci ne doivent pas être jetés dans des poubelles normales mais être amenés dans des centres de traitement spécialisés. Là, les différents matériaux seront séparés par caractéristiques et recyclés, permettant ainsi de contribuer à la protection de l'environnement.
- Όλα τα προϊόντα στα οποία εμφανίζεται το ακόλουθο σύμβολο στο σώμα, τη συσκευασία ή το εγχειρίδιο χρήσης τους, δεν πρέπει να εναποθέτονται στους κοινούς κάδους απορριμάτων αλλά να προσκομίζονται στα ειδικά κέντρα αποκομιδής. Εκεί, τα διάφορα υλικά θα πρέπει να διαχωρίζονται ανάλογα με τα χαρακτηριστικά και τα ανακυκλούμενα υκλικά, συμμετέχοντας έτσι ουσιαστικά στην προστασία του περιβάλλοντος.

RoHS Compliant

Prodotto o importato da: CTE INTERNATIONAL srl
Via. R.Sevardi 7 42124 Reggio Emilia - Italia.

Prima dell'uso leggere attentamente le istruzioni.

Produced or imported by: CTE INTERNATIONAL srl
Via. R.Sevardi 7 42124 Reggio Emilia - Italy.

Read the instructions carefully before installation and use.

Vertrieb durch: ALAN ELECTRONICS GmbH
Daimlerstraße 1K - D-63303 Dreieich Deutschland.

Vor Benutzung Bedienungsanleitung beachten.

Importado por: ALAN COMMUNICATIONS, SA
C/Cobalt, 48 - 08940 Cornellà de Llobregat, Barcelona - España.

Antes de utilizar, lea atentamente el manual de uso.

www.midlandradio.jp

MIDLAND®

MM0022.02